

各 位

上場会社名 チヨダウーテ株式会社
代表者 代表取締役社長 平田 芳久
(コード番号 5387)
問合せ先責任者 専務執行役員管理本部長 種田 貴志
(TEL 059-364-5215)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	850	1,100	700	30.02
今回修正予想(B)	25,602	806	1,063	823	35.30
増減額(B-A)	△398	△44	△37	123	
増減率(%)	△1.5	△5.2	△3.4	17.6	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	25,206	435	725	660	28.34

修正の理由

当連結会計年度の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として見通し難く、加えて年度初めに発生したウッドショック等も重なり、石膏ボードの販売に影響を及ぼす重要な指標の一つである新設住宅着工戸数が勢いを欠くことを想定し、主力事業石膏ボードの販売数量を前年度対比で若干の増加を見込み、売上高26,000百万円と予想しておりました。新設住宅着工戸数は、2021年3月以降2022年2月まで12ヶ月にわたり前年同月対比で増加基調を維持し、2021年4月から2022年2月の累計ベースで前期比6.7%の増加と持ち直したことが石膏ボードの販売数量増加に寄与し、売上高は25,602百万円と前年実績から若干の増収となる予定です。

一方、トップラインの伸び悩みに加えエネルギー価格高騰に起因するコストアップを想定し、前年度から推進中の経費全般にわたる削減対策を、期初から更に一段と徹底して取り組んできた結果、全ての収益項目において前年実績を上回り、前回(2022年2月8日)公表した水準通りで落ち着いた見込みです。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上